

今回の主な内容

- ここが聞きたい一般質問…… 2
- 常任委員会審査内容……… 5
- 議案等の審議結果……… 6
- 議会基本条例の取り組み状況を検証・タブレット端末を用いた議案審議を開始・新庁舎西棟建設調査特別委員長報告…… 7



12月定例会議を開きました<11月30日~12月15日(16日間)>

11月30日 開会

本会議・委員会

- ・市長から議案24件、報告1件を提出後、提案理由を説明
- ・先議議案の審議、常任委員会審査、採決

12月4日~9日

本会議(一般質問)

16人の議員が登壇し、議案や市政の諸課題に関して質疑、応答

2~4ページ

12月10日~11日

常任委員会

議案や請願を審査

5ページ

12月15日 閉会

本会議

各常任委員長から審査の経過と結果の報告後、討論、採決(期間中追加議案9件)

6ページ

議会トピックス

 12月定例会議  
11月30日に開会、初日に議案を先議

早急に議決を要する議案の審議のため、定例日を12月1日から11月30日に変更して開会。

初日に議員や市長などの特別職、職員の期末手当を0.05月分引き下げる条例改正案を審議しました。



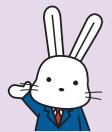
議場での議案審議の様子

 10月20日緊急会議開催

今年度4回目の緊急会議を開催、補正予算案を審議、可決しました。

主な内容

- 新型コロナウイルス感染症緊急支援策 冬季に向けた医療体制の充実 中心市街地へのテナント進出支援 など
- 福島駅前にぎわい創出事業 (旧中合福島店利活用事業)
- 防災情報配信システム整備



 令和2年秋季  
議会報告会・意見交換会開催

11月10日、11日、13日、14日の4日間、市内4か所(吾妻・飯野・三河台学習センターおよび信陵支所)で開催、37名の市民の皆さまに参加いただきました。 ※詳しくは8ページへ

タイトル写真 

高湯温泉共同浴場「あったか湯」  
福島市の温泉情報はQRコードからご覧ください。



ここが聞きたい!

# 一般質問Q&A

**一般質問とは?**  
議員が、市民の皆さまの生活にかかわる身近な市政の課題に対して質問を行います。



## 行財政

### 選挙の投票率の向上



石山 波恵

**Q** 投票率の向上のため、期日前投票時に多様な投票所を設置することが有効と考えるが見解は。

**A** 他自治体では、投票所統合の代替策として、廃止された投票所区域をワゴン車などの車両で巡回する移動式期日前投票所や多くの人が集まりやすい商業施設に期日前投票所を設置するなどの取り組み事例がある。

期日前投票の環境の充実は、有権者の利便性の向上につながるものと考えているが、投票所の増設については、二重投票防止のシステム構築や職員への対応に加え、継続的な投票所スペースの確保



などの課題もあることから、引き続き検討する。

### 財政運営の基本方針

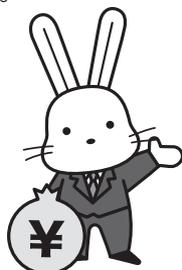


萩原 太郎

**Q** 福島駅東口再開発に伴うコンベンションホールの設置など、大型の施設整備事業を控えているが、支出削減の取り組みを含めた財政運営の基本方針は。

**A** 厳しい財政運営が予測される。事業の実施にあたっては、必要性や投資効果などを検証し、ICTの活用や創意工夫により最小の経費で最大の効果を発揮するよう検討、事務改善などによる不断の行政経費の削減に取り組むとともに、施策評価による事業の厳選により事業費の削減や見直しを図っていく。

今後とも歳入増加や経費の縮減につながるような支出の展開により中長期的な視点に立った健全な財政運営を目指す。



## くらし・安全

### 令和元年台風19号被害を踏まえた今後の対策

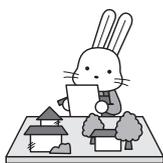


石原 洋三郎

**Q** 令和元年台風19号の被害を踏まえ、総合的な対策をどのように行っていくのか。

**A** 減災、水防対策として、市民への正確かつ迅速な情報伝達などの条件整備を進めている。土地利用対策として、農用地や森林の整備など適正な維持管理による防災機能の向上に引き続き取り組む。治水対策として、迅速な内水排除に必要な施設整備と維持管理体制の強化に努める。流域対策として、公共施設や民間施設へ貯留施設と浸透施設の設置を推進する。

これら総合的な取り組みを着実に進めることにより、水害に強いまちづくりを目指す。



## 産業・経済

### 福島市の農業の現状と対応策



佐々木 優

**Q** コロナ禍で外食需要が激減、米の過剰在庫が増え、今年度産の米価が下落している。備蓄米の買入れ増や供給する仕組みづくり、戸別所得補償制度の復活などの対策を国や県へ求め、農業者を支援するべきが見解は。

**A** 米生産農家の経営安定のため国や県と連携し、飼料用米をは

じめとした非主食用米や野菜などへの作付け転換支援などを行ってきた。今般の米の需給緩和が懸念される状況下において、さらなる支援制度の拡充が必要であり、米の消費拡大の側面からの支援や制度設計、予算措置を含め、引き続き国や県と連携し、生産者支援に努める。



### まちづくりへの影響



山田 裕

**Q** にぎわいのあるまちづくりにとって打撃となりにかねない伊達市への大型商業施設の出店には、今からでも反対すべきだが見解は。

**A** 大型店の出店には、法令的規制に限界がある。

見直しを求め続けた場合、さらに影響の大きい計画に戻ることを危惧する。今後は、本市の要請に一定の配慮がなされた現計画が進んでいく見通しに立ち、事業者はもとより、伊達市など福島圏域の市町村と連携を強め、協力関係を築いていくことが重要であり、さらなる大きな見直しを求めることはしない。

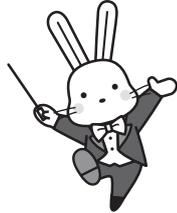


**古閑裕而のまちふくしま  
の取り組み推進**  
小野 京子

**Q** 連続テレビ小説「エール」の放送終了後も古閑氏ゆかりの地やロケ地を生かした観光、ロケ誘致などを進めるべきだが見解は。

**A** 「エール」放送を機に、古閑裕而氏ゆかりの地やドラマロケ地は、新たな観光資源として注目されている。名場面や関連スポットを紹介するマップ、パンフレットを作成し市内回遊の仕掛けを作る。朝ドラの舞台となる都市との連携による観光客の誘致を図る。また、官民一体のロケツーリズム推進体制の整備とロケ地情報の発信に加え、ロケ誘致のトップセール

スなどを行い、ロケをするなら福島市と呼ばれる取り組みを行う。



**環境・ごみ**

**有害鳥獣の捕獲支援策**  
後藤 善次

**Q** 国では鳥獣捕獲策を強化し、重点エリアで対策に取り組むとしているが、その支援策の内容は。

**A** 国は、都道府県ごとに被害防止に重要な地域などを捕獲強化エリアに設定し、捕獲範囲の拡大や出猟頻度の増加、わなの増設、広域的な連携による捕獲、新しい人材の育成や確保などの必要な活動に対し予算を措置する。

本市は、イノシシの捕獲強化エリアに指定され、国の鳥獣被害防止対策交付金事業でイノシシの捕獲活動費が追加配分された。



**ごみ減量化の取り組みの対策と効果**  
阿部 亨

**Q** ごみ有料化導入前に、あらゆる減量化へ向けた取り組みを行うとしていたが、実際に取り組んだ対策と効果は。

**A** ごみ分別方法などの情報発信ツールとして、平成31年1月よりごみ分別アプリ「さんあーる」を活用している。

昨年度は、地区座談会や出前講座などを実施し、ごみ減量化や資源化の意識啓発を図った。

今年度は、リサイクルできる紙類の分別徹底と出し方の追加変更、環境フェスタなどでの生ごみ処理容器実物展示により、生ごみ処理容器購入費助成制度の申請件数が前年度同

期比44%増、7月からは、使用済しがき回収事業ももりんエコポストを開始した。

これら施策を通じ、市民・事業者・行政が一体となり、ごみ減量化を推進する。



**ムフドリなどの被害の調査と状況**  
宍戸 一照

**Q** 西部・北部の果樹地帯で、ムクドリ、ヒヨドリ、カラスなどの被害やふん被害が増加しているが、その被害の調査と状況は。

**A** 鳥類の被害などは、各地区の農振会長の協力を得て被害状況を把握している。令和元年は、荒井を中心とした西部地区で被害面積約1ha、被害額約20万円、瀬上や余目を中心とした北部地区で被害面積約30ha、被害額約250万円となっている。本年度は、年末までに実施予定の有害鳥獣による農作物被害調査により全体的な被害状況を把握し、被害対策に努める。

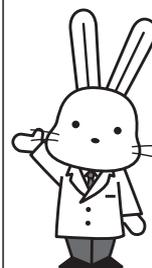


**福祉・健康**

**新型コロナウイルス  
感染拡大の抑止対策**  
村山 国子

**Q** 感染拡大抑止のためには、症状のある患者への速やかな検査が重要だが見解は。

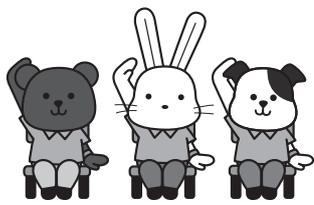
**A** 症状のある患者が早期に受診し、速やかに検査を受けることが重要であるため、医療機関への通知や市民へのチラシ、市ホームページ、市政だよりなどによる周知啓発を継続する。



**コロナ禍における  
介護予防への影響**  
梅津 一匡

**Q** 介護予防へ新型コロナウイルス感染症が及ぼす影響と課題解決に向けた取り組みは。

**A** 令和2年6月に、いきいきももりん体操参加者にアンケート調査を実施、回答者1,120人中、553人が口腔機能や運動機能、認知機能の低下やうつ状態などの傾向にあったことを把握した。これは、活動が休止となったことが影響していると考えられ、各団体に対し、感染拡大防止の取り組みの好事例を紹介するなど、活動再開に向けた支援を行っている。



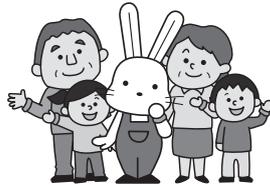


**ひきこもり支援施策**  
二階堂 武文

**Q** 問題を抱える市民目線に立ち、相談しやすい窓口の一本化を検討すべきだが見解は。

**A** 福島市地域福祉計画2021の重点事業として、包括的な相談・支援体制の充実を位置づけ、介護や障がい、子ども、生活困窮などの個別の支援ニーズに対応し、丸ごと相談・支援できる包括的な支援体制の整備などに新たに取り組み予定である。

窓口の一本化については、令和3年度に国のモデル事業を活用し実施する準備を進めている。



**コロナ禍における**

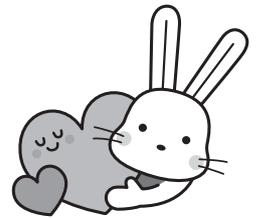
**女性への配慮**  
佐原 真紀



**Q** 新型コロナウイルス感染症発生以降の令和2年4月から9月までの半年間と前年度同期間における子どもを守る・女性を守る相談窓口への女性からの相談件数と主な相談内容は。

**A** 女性からの相談件数は、令和2年4月から9月までは322

件、令和元年同期間では232件。主な内容は、配偶者からの暴力や離婚相談など家庭生活における相談である。



**まちづくり**

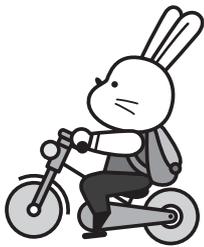
**シェアサイクルと**



**ももりんレンタサイクル**  
小熊 省三

**Q** スマートフォン利用が前提のシェアサイクルは、これまで利用できなかった方が利用できなくなるのが危惧される。誰でも利用できるようにすべきだが見解は。

**A** シェアサイクルは、コロナ禍における3密を回避でき、無人の貸し出しとすることにより、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低減するとともに、24時間利用や貸し出し、返却の場所の大幅増などサービス向上を図るものである。今後、全面的にシェアサイクルへ移行する方針だが、経過措置期間、ももりんレンタサイクルの一部を残すことを検討する。



**福島駅前通りなどへのWi-Fi環境の整備**  
齋藤 正臣

**Q** 利用者行動の可視化を見据え、福島駅前通りや中心市街地のイベントスペース、海外観光客も多く訪れる花見山周辺地域にWi-Fi環境を整備すべきだが見解は。

**A** 花見山ウォーキングトレイル駐車場へWi-Fi環境を整備し、福島駅東西の駅前広場へインバウンド受入環境整備の一環として屋外型の高機能Wi-Fi環境を整備した。近年のスマートフォンの普及やSNS利用者の増加などにより、大容量のデータ通信が求められており、観光客の利便性の向上に限らず、市民への災害情報伝達手段の確保やSNSを活用した情報発信の活用にも期待できることから、Wi-Fiサービス提供エリアの拡大や高機能Wi-Fiへの機器更新の検討を行う。



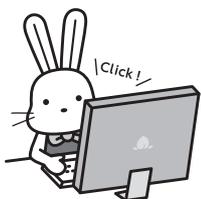
**A** 今年度は、各競技団体が策定した感染拡大予防ガイドラインに示された感染防止対策の徹底が可能と判断した競技種目のみ行うこととし、全41競技中、22競技のみを実施した。また、実施競技数が減少したため、例年行ってきた総合成績を競う地区対抗戦の実施は見送った。来年度は、感染防止対策を徹底し、地区対抗戦を復活させたいと考えており、各競技団体や地区体育協会などと連携を密にし、競技会場の分散化や無観客を含め、運営方法を検討し、万全の競技準備を進める。



**本会議の映像を配信しています**

一般質問などの本会議の様子をご覧いただけるよう、録画映像をインターネットで配信しています。

市議会ホームページのトップ画面「議会中継」またはQRコードからご覧ください。



**教育・文化**

**コロナ禍における**



**市民体育祭の運営方針**  
大平 洋人

**Q** 地域住民がスポーツを楽しみ、世代を超えて地域交流を図れる場として重要な市民体育祭の来年度以降の運営方針は。

**A** 今年度は、各競技団体が策定した感染拡大予防ガイドラインに示された感染防止対策の徹底が可能と判断した競技種目のみ行うこととし、全41競技中、22競技のみを実施した。

# 常任委員会

12月定例会議において、4つの常任委員会が開かれ、本会議で付託された議案および請願の審査を行いました。各常任委員会に付託された議案の中から主な内容をお知らせします。

## 総務

### ◆ふるさと納税促進事業費

今年度は応援メニューのリニューアルやメディアなどへのPRを強化したことなどにより、昨年度の約2倍となる3億円の寄附が見込まれる。

そのため、返礼品代などに要する経費を追加する。



### ◆福島市部設置条例の一部改正

頻発する自然災害や新型コロナウイルス感染症対策などへの対応として、危機管理部門を市長直轄として位置づけ、危機事象への迅速かつ的確な対応を図る。

政策調整部の地域協働課は今後、市民との共創によるまちづくりを推進していくため「地域共創課」へ名称を変更する。

また、組織簡素化のため、市長室を廃止し、秘書課は総務部へ移管する。

## 文教福祉

### ◆保育士等奨学資金貸付事業費

将来、福島市内の認可保育施設や幼稚園において保育士、幼稚園教諭などとして勤務する意思のある方に対して奨学資金を貸し付ける保育士等奨学資金について、希望者の増加が見込まれることから追加し、さらなる保育士などの確保を図る。

### ◆オンライン家庭学習支援事業費

令和3年度新学期からスタートする、1人1台タブレット端末を活用した授業に備え、家庭内で使用できるインターネット契約を締結していない児童生徒の保護者に対し、インターネット接続契約をする際に生じる初期費用を支援する。

令和3年4月1日に、市立小・中学校、特別支援学校に在籍する予定の児童生徒の保護者で、家庭内で使用できるインターネットの契約をしていない方が対象となる。



## 経済民生

### ◆福島市写真美術館条例の一部改正

昨年度から2カ年の継続事業として復旧および耐震補強などの再整備工事を実施している写真美術館の再開館にあたり、文化芸術の交流拠点としての機能や写真文化の振興に重きを置いた施設であることを明確にするため、設置目的を改正する。



また、建物の老朽化によりさまざまな運営上の支障が生じている分館の市民ギャラリーを廃止し、その機能を本館に統合する。さらに使用する部屋に応じた利用料などを新たに定め、営利目的での利用を認めることとする。

### ◆鳥獣被害対策強化事業費

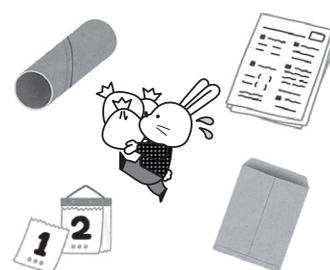
イノシシの捕獲頭数が予想を上回っていることから、狩猟捕獲に対する助成費を150頭分追加し、農作物への被害対策の強化を図る。

## 建設水道

### ◆ごみ減量化促進対策事業費

生活系可燃ごみの約20%を占める紙類の削減のため、現行の資源物のうち「その他の紙製容器包装」の収集対象を拡大し、「雑がみ」として分別収集を開始する。

令和3年4月からの収集開始に向け、チラシや看板などを作成し周知広報を行う。



### ◆河川災害防止緊急対策事業費

迅速かつ確実な内水排除作業を行うため、軽量緊急排水ポンプユニットを10台導入し、浸水被害のさらなる軽減を図る。従来のポンプと比較し軽量であり、運搬、設置が容易となるため、これまでに比べ運転開始までの準備時間の短縮と排水能力の向上が可能となる。

# ～議案等の審議結果～

結果欄：○→原案可決、同意、認定、採択  
×→原案否決、不同意、不認定、不採択

## 10月20日緊急会議

[市長提出議案 / 1件]



各議案の概要および資料などはQRコードからご覧ください。



区分	件名	結果
補正予算案	福島市一般会計（第7号）	○

## 12月定例会議

[市長提出議案 / 33件]

区分	件名	結果
補正予算案	福島市一般会計（第8号、第9号）、福島市水道事業会計（第1号、第2号）、福島市下水道事業会計（第1号、第2号）、福島市国民健康保険事業費特別会計（第3号、第4号）、福島市介護保険事業費特別会計（第3号、第4号）、福島市後期高齢者医療事業費特別会計（第1号、第2号）、福島市工業団地整備事業費特別会計、福島市飯坂町財産区特別会計、福島市公設地方卸売市場事業費特別会計	○
条例改正案	福島市部設置条例	○
	福島市手数料条例	
	福島市古閑裕而記念館条例	
	福島市写真美術館条例	
	福島市子育てのための施設等利用給付の対象となる認可外保育施設の基準を定める条例	
	福島市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例等	
	福島市火災予防条例	
	議会議員の議員報酬等に関する条例	
	市長等の給与に関する条例	
福島市職員の給与に関する条例等		
指定管理者指定	福島市土湯温泉まちおこしセンター及び福島市土湯温泉観光交流センター 福島市地域振興施設道の駅	○
その他	福島県市民交通災害共済組合理約変更	○
	訴えの提起	
	民事調停申立て	
	損害賠償の額の決定並びに和解	
	字の区域の変更	
	工事請負契約（令和2年度地域振興施設「道の駅」整備事業外構工事）	

[請願 / 1件]

区分	件名	結果
請願	国に対し「再審法（刑事訴訟法の再審規定）の改正を求める意見書」提出方について	×

## 議会基本条例の取り組み状況を検証！

福島市議会では平成26年4月に議会基本条例を施行し、その目的を達成するため、さまざまな取り組みを行い、その施行状況を毎年検証しています。

### 🔍 検証内容

基本条例の3つの基本方針

- ①市民に開かれた議会
  - ②議員間の自由闊達な議論・討議を行う議会
  - ③政策立案や政策提言を積極的に行う議会
- に基づく取り組みを中心とした15項目

### 🔍 検証方法

各会派で会派評価を行った後、総合評価として議会改革検討会において評価および今後の取り組み方針を協議、決定

今後も議会基本条例の理念のもと、議会のあり方および諸課題について検討し、市民の皆さまに分かりやすく開かれた議会を目指します。

## 今後の取り組み方針（検証結果）

- ★市民に分かりやすい言葉・表現の方法を用いた議会運営、市民参加の推進、市長などに対する政策提言などの11項目  
➔このまま推進すべき（A評価）
- ★本会議・委員会での議員間の自由討議  
➔制度の共有化を図り、必要に応じて的確に課題や対象を捉え、制度の活用を検討すべき（B評価）
- ★議案などに対する議員個人の賛否の公表、政策討論会の開催、積極的な政策立案の3項目  
➔実施に至らなかったため、今後制度の活用などを検討すべき（C評価）

各項目ごとの評価や今後の取り組み方針、各会派の会派評価などの詳しい内容はQRコードからご覧ください。



## タブレット端末を用いた議案審議を開始！

12月定例会議より、議員や執行部説明員などがタブレット端末を使用して議案審議を行いました。

初めての試みとなる今回の定例会議は、紙の資料も併用しましたが、今後もタブレット端末の活用により、ペーパーレス化や議会のICT化を図り、効率的な議会運営を推進します。



議場での議案審議の様子



## 新庁舎西棟建設調査特別委員会

12月15日の本会議で、これまでの調査結果に基づく委員長報告を行いました。



### 主な内容

#### ①議場について

より市民に親しまれる議場とするため、市民席ともいえる傍聴席と対面する位置にも演台を設置し、傍聴席を含めた議場全体に向かって発言できるようにすべき

#### ②傍聴席について

より多くの方に傍聴いただけるよう、ICT機器などの新たな技術を積極的に活用し、障害のある方などさまざまな方が利用しやすい環境を整備すべき

#### ③委員会室について

インターネットなどを用いて、来場しなくても傍聴いただけるよう、本会議と同様に委員会も映像・音声の配信が可能な整備をすべき

※調査は今後も続きます。

委員長報告の全文はQRコードからご覧ください。



# 令和2年秋季議会報告会・意見交換会を開催しました

議会基本条例に基づき、議会活動や市政に関する情報を市民の皆さまと共有し、あわせて市政全般について意見を交換するため、毎年春と秋に議会報告会と意見交換会を開催しています。

- 開催場所・参加人数・表紙をご覧ください。
- 第1部 議会報告会・令和元年12月定例会議から令和2年10月20日緊急会議までの期間における議案審査の内容、所管事務調査や特別委員会の調査の報告について、各委員会に所属する議員から報告しました。
- 第2部 意見交換会・テーマを設けず、自由に意見を交換しました。

## ～意見交換会でのご意見の一部をご紹介します～

- ★小中学校において、教員がICT化の対応に追い付いていないこともある。ハード面とともにソフト面のサポートも必要では。
- ★ごみ減量の対策がうまくいっていないのでは。残念だ。
- ★新まちなか広場は若者の交流の場として大変期待している。
- ★道路沿いに耕作放棄地があり、交通安全上からも、安全安心の観点からも問題では。



発言いただいたご意見は、議員全員で共有するとともに、今後の議会活動にいかしてまいります。  
 参加いただいた市民の皆さま、誠にありがとうございました。  
 議会報告会・意見交換会の詳しい内容・結果はQRコードからご覧ください。  
 次回の開催については、市議会だより、市議会ホームページなどでお知らせします。



## 3月定例会議開催予定(3月1日～3月25日)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	本会議 (定例日)	休会 (議案調査)			本会議 (代表質問)	
7	8	9	10	11	12	13
	本会議 (代表質問)	本会議 (代表・一般)		本会議 (一般質問)		
				議会運営委員会	委員会	
14	15	16	17	18	19	20
	委員会	議会運営委員会 本会議	常任委員会 予算特別委員会(分科会)			(春分の日)
		予算特別委員会 (全体会)			議会運営委員会	
21	22	23	24	25	26	27
	常任委員会 予算特別委員会 (分科会)	予算特別委員会 (全体会)	休会 (事務整理)	議会運営委員会		
				本会議 (採決等)		

- ◆本会議は、通常午前10時から開会予定です。
- ◆3月定例会議で審議する請願・陳情の締め切りは、3月2日(火)午前11時です。
- ◆日程、開会時間は変更になる場合があります。詳しくは、議会事務局(☎525-3776)までお問い合わせください。

- ◆市議会広報に関するご意見をお寄せください。  
〒960-8601 福島市五老内町3番1号  
電話 024-525-3776  
FAX 024-534-2520  
福島市議会 広報委員会あて
- ◆市議会ホームページをご覧ください。  
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/gi-soumu/shise/shigikai/>  
発行：福島市議会 編集：広報委員会



市議会のHPはQRコードからご覧ください。